

売上収益

1,445億円 前期比 **6.4%増**

長期収載品については、後発品使用促進策の影響により売上の減少が予想されますが、主要新製品はおおむね堅調に伸長すると見込んでいます。「オブジーボ点滴静注」や「オレンシア皮下注」などの売上やライセンス収入の増加が見込まれ、通期の売上収益は、前期比87億円(6.4%)増の1,445億円を予想しています。

税引前当期利益

178億円 前期比 **2.8%減**

営業利益を前期比4億円増加と見込んでいるものの、金融収支等が前期比9億円減少の26億円と見込まれることから、通期の税引前当期利益は、前期比5億円(2.8%)減の178億円を予想しています。

営業利益

152億円 前期比 **2.7%増**

売上収益は前期比87億円増加を見込んでいますが、売上原価の増加に加え、オブジーボに関する臨床試験の増加に伴う研究開発費の増加やオブジーボの効能追加を見据えた販売費及び一般管理費も増加を見込んでおり、通期の営業利益は、前期比4億円(2.7%)増の152億円を予想しています。

親会社の所有者に帰属する当期利益

131億円 前期比 **1.0%増**

税引前当期利益は減少しますが、一方で法人税等の税率の低下などにより税金費用の減少が見込まれます。その結果、通期の親会社の所有者に帰属する当期利益は、前期比1億円(1.0%)増の131億円を予想しています。